第7回英語セミナー

理工系大学院生・研究員のための

効率的な英語の練習方法と自然な英語の運用方法

○日時　平成 25 年 5 月 22 日(水)

7-10時限（14:35-17:50）

○講師　外国語教育研究センター准教授 前田 啓朗 先生

○対象　理系全分野の博士課程前期・後期学生
博士学位取得後 5 年以内の研究者
※学外の方も申込みできます

○会場　総合科学部 J 棟 J209（定員 48 名）

このセミナーでは、効率よく英語を練習して身につける方法や、自然な英語を使うための方法について実習します。研究者としての学術的な文脈における執筆やプレゼンテーションの英語から、日常的な文脈における口頭やメールでのやり取りの英語まで、幅広く活用することを目的とします。

時間に追われる研究生活の中で、英語を使うことが必要な場面に出会うと、うっかり「その場をなんとかやり過ごすこと」を重視してしまい、過ぎてしまえば忘れてしまいがちかもしれません。確かに、限られた時間の中ですから、目の前の用が済んでしまえば次の用に向かうのはやむを得ないかもしれませんが、そのうちに、英語が必要な場面はまたやってきます。

そこで、現実的な必要に応じて、実際に英語を使う(話す・書く、だけではなく、読む・聞く)ことがある若手研究者にとって、とりたてて何か別の教材を新たに入手して勉強するのではなく、触れた英語を身に付けたり、自然な英語を使うためにアーカイブ化したりする方法を演習します。

【申込み方法】

E メールで件名を「英語セミナー申込み」として「1.所属・専攻 2.学年(職位) 3.氏名」を記載して申込み先までお送りください ※平成 25 年 5 月 21 日(火)締切

【申込み・問い合わせ先】

広島大学若手研究人材養成センター(担当:堺原)
E-mail:wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp　TEL : 082-424-6213
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/

【講師紹介】

前田　啓朗　准教授　広島大学　外国語教育研究センター

英語教育学を専門とし、特に個人差要因を中心とした測定・評価や CALL（コンピュータを使用した外国語の指導）について研究を行っている。

平成 9 年　　広島大学教育学部卒業
平成 12 年　同大学院教育学研究科博士課程前期修了
平成 22 年　同博士課程後期修了

広島大学では平成 12 年に事務補佐員として勤務して以降，平成 13 年に情報メディア教育研究センター助手，平成 16 年に外国語教育研究センター助手，助教授を経て，現職に至る。

外国語教育研究センターに所属する英語関連科目の授業担当者として，教養教育や大学院共通授業科目などの担当に加えて，それらの企画や評価にも携わっている。学外においては文部科学省国立教育政策研究所が実施する初等・中等教育における教育条件整備に関する研究の委員会等に招聘され，測定・評価の観点から参画している。

【2013 年度担当講義】

コミュニケーション基礎 I・基礎 II・IB・IIB、マルチメディア英語演習、英語圏フィールドリサーチ（以上、教養教育科目）、**英語口頭表現スキルアップ A**（外国語教育研究センター）、**プレ・アカデミック・イングリッシュ II、アドバンストイングリッシュ I**（大学院共通授業科目）

HIROSHIMA UNIVERSITY
Young Researchers Education Center
若手研究人材養成センター　**で検索！**

企業へインターンに行ってみませんか？

～イノベーション人材養成システム養成対象者募集のお知らせ～

若手研究人材養成センターでは、理系全分野の博士課程後期の学生及び博士学位取得後 5 年以内の研究員を対象として、「イノベーション人材養成システム」の養成対象者の募集を行っています。

当センターが独自に開発した実践プログラムを受講後、国内外の企業へ 3 か月以上のインターンシップを経験します。

対象の方は、HP のお知らせ欄に詳細を掲載していますので、是非、ご覧ください。

企業の方の生の声を聞いてみませんか？

このセミナーでは、企業で活躍している研究者等を講師にお招きして、さまざまな分野における企業の研究開発内容、研究者の業務、企業の求める人材等について講演をしていただきます。

第 42 回　サントリービジネスエキスパート㈱

5月31日（金）14:30～
理学研究科 E203 会議室
【講師】サントリービジネスエキスパート㈱
技術開発本部　価値フロンティアセンター部長
永井　元　氏

1.第42回、2.名前、3.所属、4.学年(職名)を明記して、E メールでお申し込みください。